

第4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	平成25年度第4回武蔵村山市自立支援協議会
開 催 日 時	2013年 10月 7日（月） 午後2時00分 ～ 午後3時40分
開 催 場 所	市民総合センター3階 小会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：椎木俊秀、西山直美、笹本秋夫、有賀講陽、須永美智子、 岩瀬香世、鈴木君子、押田友紀子、古川総子、 笹本悦弘、高橋毅、市川和男、榎本勝 欠席者：長田文男、森本章、見崎洋一郎、鎌田隆太、菅原幸次郎
議 題	議題1 報告事項 （1）日中活動系サービス事業者部会の開催報告 （2）居住系サービス事業者部会の開催報告 （3）訪問系サービス事業者部会の開催報告 （4）相談支援サービス事業者部会の開催報告  議題2 議題 プロジェクトチームでの課題の検討状況について （1）障害者のくらしを考える部会 （2）障害者の「はたらく」を考える部会  議題3 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1について： （1）施設ごとの震災対策についての確認を行った。 （2）生活支援と就労支援の取組みについて意見交換。 （3）事業運営の課題についての話し合い。 （4）計画相談の状況についての意見交換。  議題2について： （1）障害者の防災対策の推進についてとヘルプカード導入の進捗状況について （2）イオンモールでの障害者インターンシップの報告とハローワーク立川担当者から障害者の就労状況の説明。  議題3について： 次回の協議会は11月18日（月）に開催する。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) ●会 長 ○委 員 ■事務局	・配布資料の確認  議題1：報告事項 ●まずは事務局の方から事務連絡をお願いしたい。 ■内容に入る前に課長が欠席なのを了承していただきたい。 また、10月1日に異動があり、援護第一グループの本木主査が保険年金課に配属となり選挙管理委員会事務局から大坪主査が着任された。  ・大坪主査の挨拶

■大坪主査はヘルプカードや「はたらく」を考える部会等の担当となる。

●では、報告事項について報告願いたい。

■前回の部会では開催通知に部会の議事録を同封してほしいとの要望があり事前に送ったので、簡単に説明したい。

日中系活動サービス事業活動部会の開催日は9月18日（水）であり、出席は9事業所で欠席されたのは4事業所であった。内容としては各施設の震災対策についての確認で、施設ごとに情報をもらった。それに加え個々の施設の状況を話し合った。次回の部会は11月13日（水）16時からを予定している。

続いて居住系サービス事業者部会については、9月27日（金）13時30分から15時までであり、出席は5事業所と川島課長。3事業所は欠席であった。内容としては生活支援と就労支援の取り組みについてで、各事業所と情報交換を行った。次回の開催は11月22日（金）13時30分から15時を予定している。

訪問系サービス事業者部会の報告は9月24日（火）14時から15時50分まで開催された。5事業所と事務局（渡辺主査）が出席し、1事業所が欠席された。内容は事業運営についての課題ということで各事業所から問題点などの報告を受けた。また、意見交換として具体的な状況を提供してもらい話し合った。次回は11月19日（火）14時から15時30分を予定している。

相談支援サービス事業者部会は9月17日（火）14時から16時に開催され、6事業所が出席した。前回の報告や各事業所の計画相談の状況についての意見交換をした。次回は11月12日（火）14時から16時に開催される。

●それでは、各部会から何か補足があったら願いたい。

○資料3（6ページ）の確認事項についてだが、地域区分について武蔵村山市として不服申し立て等の動きがあれば確認してほしいと要望した。東大和市は不服申し立てを出したようだ。

○相談支援（8ページ）についての質問だが、サービス利用計画は今どのくらい進捗している状況なのか。

○9ページの中盤に書いてあるが、24年度は82件で25年度の現在までで81件ということだ。また、別の資料には25年4月1日の段階であるが、障害福祉サービスの受給者数ということで649名が利用される予定。年齢別では18才以上で593名、18歳未満の者が56人である。1ヶ月に15人ずつ行っていくと来年度以降には326名残っているという状況になる。

○年齢ではなく、障害の種別だとどうなるのか。

○その資料によると身体手帳所持者が2505名、愛の手帳所持者が526名、精神手帳所持者が566名、難病の方が876名となっている。よって対象者は4473人となっている。

●次にプロジェクトチームから報告願いたい。

○くらしを考える部会は9月10日14時30分から16時まで市民総合センター小会議室で7名の出席で開催された。内容としては災害時における障害者の防災対策についてであった。資料11ページの1、①災害時要援護登録の推進については法整備が進展している状況があるので、議題から削除した。②障害者対応の避難訓練については部分的には実施している団体があるということだ。③障害者向け防災マニュアル作成についてはシンプルな方がいいのではないかなど多様な意見が出たが、十分にまとまっていないので、引き続き検討するという事になった。④防災マップの作成についても他の自治体の事例を研究して引き続き検討するという事になった。

2、その他は、ヘルプカード導入の状況について議論が進んでいない現状があるので、近隣の自治体のサンプルを手本としてみるといったことや対象者をどうするのかなどといったことが話し合われた。

○就労プロジェクト(12ページ)は9月19日14時から16時に市民総合センター小会議室で7名の出席で開催された。内容は1.イオンモールでのインターンシップについて就労支援センター『とらい』の利根川氏より職場体験実習の進捗状況について説明があった。(詳しい資料は13ページ)今年で4年目に入り、イオンモールの中に入っているいろんな店舗に協力を得て、3日間ずつ12店舗計18名の障害を持った方に参加している。このインターンシップ自体が直接就職につながっていくものではないが、障害者の意識を変えていくことや会社側の方も障害者への理解を深める機会にしてもらいたいと思っている。2.ハローワーク立川管内の障害者就職状況についてはハローワーク立川の松本統括職業指導官より14ページ以降の資料を使って説明していただき、意見交換を行った。

14ページには今進んでいる障害者雇用関係の法律について書かれており、特に大きいものとしては障害者の差別の禁止や障害者の法定雇用率の算定基礎の見直しが行われていることが書かれている。25ページにはハローワーク立川管内の状況の円グラフが出ている。20年度と24年度を比べると特に精神障害者の求職者数が増えていることが見てとれる。26ページの就職件数にしても求職者と同様に精神障害者が増えていることがわかる。27ページには知的障害者の年齢別の採用状況についてのグラフがあり、若い世代を中心に就職できている。28ページのグラフでは、障害者雇用はパートタイムが多いことがわかり、29ページには職種別の採用状況がわかるようになっている。31ページには精神障害者が一般求人か障害者求人か、障害を隠しているか隠していないかなどのグラフがある。36、37ページには企業側から見た障害者雇用の訴えなどの説明がある。

3.今後の就労プロジェクトの取り組みについては、地域の企業等を対象に福祉事務所の見学会を実施し、障害の実態や現状を知ってもらいたいといった意見や、ハローワークで実施している研修会に就労プロジェクトも協力していきたいという内容だった。

4.その他については自立支援協議会定例会にハローワーク職員の参加を検討できないかといったことが出た。

●くらしの部会や就労プロジェクトの報告について意見はないか。

○障害者雇用について受け手側の理解はどの程度進んでいるのか、またジョブコーチは進んでいるのか。

○受け手側の障害者についての理解は浸透していない部分が多いのではな

いだろうか。ジョブコーチというのもそれに関係してくるが、企業と障害者の間に立って障害者雇用の定着をはかる制度となっていて、東京都では東京ジョブコーチとして動いている。また、就労支援センターとらいも定着支援に貢献していると考えます。

○申請は誰が行うのか。

○本人もしくは職員が行う。

○特別支援学校などはジョブコーチを利用している。

○就労に結びついた報告はあるが、どの程度定着したのかという報告がない現状があるのではないかと。

●他に意見はないか。

○暮らしを考える部会の防災訓練についての記述があるが、私どもの施設では11月16日に8施設合同防災訓練を実施する。来年度あたりは障害者の方も入れてできないだろうか。

●大田区では施設を2次避難所として障害者が泊まり込んで行う防災訓練がある。また、確認中ではあるが防災基本計画が改定されることで名簿作成の義務化があるが、障害者の声を取り入れることに関しても義務化されるのではないかとという情報もある。

●12ページの自立支援協議会定例会にハローワークの職員の参加を検討できないかということについては事務局に確認していきたい。

●次に事務局の方から障害者計画と障害福祉計画について説明していただきたい。

■現在は障害者計画（平成23年～26年）と障害福祉計画（平成24年～26年）があるが、平成27年度以降この両方の計画を一体化した計画を作成するにあたって、今年度中（12月くらいから）に障害を持っている方に対してアンケート調査を行いたいと考えている。その前に幅広い方々にアンケートの内容について意見をもらいたいと考えており、予定としては10月中旬に原案ができることになっているので、その原案を皆さんに提示し、意見を出していただきたいと思っている。

●障害者計画と障害福祉計画の概要や違いを教えてください。

■障害者計画については障害者基本法に定められている部分であり、主に暮らしの部分のアンケートを取り入れていきたいと思っている。障害福祉計画については国で定められている目標の指数があるので、武蔵村山では今後こういったサービスを構築していくのかといった内容についてである。

○上位計画との整合性はどうか。

■上位計画を踏まえて内容を精査していきたい。

	<p>●次にヘルプカードの進捗状況について事務局から説明してほしい。</p> <p>■当初は今年度中にヘルプカードを作成するという話もあったが、年度途中に予算をつけるのは難しいなどといった状況があったため、来年度予算に組み入れたいと考えている。そして、各部会の方々の意見を入れていきながら作成していきたいと考えている。</p> <p>○これは一回作ると何年くらい使うものなのか。更新は考えているのか。</p> <p>■その辺も含めて次回報告させていただきたい。</p> <p>○つくって終わりではもったいないので、せっかく作るのであれば避難困難者と一目でわかるようにすべきだと考える。</p> <p>■その他に意見はあるか。</p> <p>○前々回かその前の定例会で話した就労プロジェクトの中のいくつか提案した内容について質問したい。例えば優先調達推進法などは提案してから半年程度たつがどうなっているかを確認したい。</p> <p>■それについては事務局から次回報告してもらいたい。次回の自立支援協議会は11月18日（月）14時から開催したい。</p>
--	--

会議の公開・非公開の別	<p>■公開 <span style="float: right;">傍聴者： 0 人</span></p> <p><input type="checkbox"/>一部公開</p> <p><input type="checkbox"/>非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p style="font-size: 2em;">( )</p>
-------------	---

会議録の開示・非開示の別	<p>■開示</p> <p><input type="checkbox"/>一部開示（根拠法令等： )</p> <p><input type="checkbox"/>非開示（根拠法令等： )</p>
--------------	---

庶務担当課	健康福祉 部 障害福祉 課（内線： 642 ）
-------	-------------------------

（日本工業規格A列4番）